

会計名			総合運動公園整備事業				担当部		教育部						
一般会計							担当課		スポーツ課						
款							項		目		担当係		業務係		
8							4			5					
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野		教育文化											
		基本施策		スポーツ											
		施策の内容		施設の整備・充実・開放											
	目的		生きがい創出と健康志向の高まりに伴いスポーツ人口が高まる中、公園区域を整備することで、体育施設利用者及び公園利用者の利便性向上とスポーツ振興を図る。				主たる内容		施設利用ニーズの増加に対応するため、総合運動公園の駐車場を新たに整備する。						
	位置づけ														
	関連計画														
	根拠法令														
	対象者		施設利用者				事業期間		令和6年度～令和8年度						
	実施方法		■直営 ■委託 □指定管理 □補助・助成 □その他												
	BDO 事業実績 計画 実施 V	5年度実績		6年度実績			7年度実績			8年度計画					
		・総合運動公園第5駐車場測量設計業務委託 ・用地取得			・総合運動公園第5駐車場整備工事			(R7繰越分) ・総合運動公園第5駐車場整備工事							
成果		駐車場の整備工事を行った。													
課題		総合運動公園における慢性的な駐車場不足の解消に向けて引き続き検討していく必要がある。													
指標名称（単位）					実績値			目標値							
					5年度		6年度		7年度		8年度		10年度		
活動指標		用地取得率（％）			—		100.0		—		—		—		
活動指標		整備工事進捗率（％）			—		—		95.9		100.0		—		
他市との比較検証		市独自の事業である。													
C 事業コスト		単位：千円		5年度（決算）		6年度（決算）		7年度（決算）		8年度（予算）		7年度事業費内訳			
	事業費 ①		0		208,976		0		208,000		合計 0 円				
	財源	特定財源	0		0		0		208,000						
		一般財源	0		208,976		0		0						
	職員人件費 ②		0		1,195		2,067		1,270						
	総事業費（①＋②）		0		210,171		2,067		209,270						
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		7年度特定財源名称									
		7年度までの累積事業費		0											
9年度以降の事業費見込		0													

会計名			総合運動公園整備事業	担当部	教育部
一般会計				担当課	スポーツ課
款	項	目		担当係	業務係
8	4	5			
C H E D C K ハ 評 価 シ ト	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	・ 法的業務 ・ 市民ニーズ、社会需要 ・ 市民生活上必要である など		高い	駐車場を整備することは、総合運動公園における慢性的な駐車場不足の解消につながり、体育施設及び公園利用者に対する必要性は高い。
	効率性	・ コストの節減、費用対効果 ・ 執行体制の効率性 ・ 手段の最適性 など		普通	駐車場として必要最低限の整備を行い、コスト節減を図っている。
	妥当性	・ 市が主体となって実施すべき事業であるか ・ 総合計画との整合性 など		普通	体育施設及び公園利用者への利便性の向上を目的とする整備事業であり、市の主体的な関与が必要である。
	施策への貢献度	・ 施策への貢献度 ・ 目標達成度 ・ 市民サービスへの効果 など		高い	駐車場が整備されることで、より多くの利用者が利用でき、体育施設及び公園利用者への利便性が向上する。
	今後の方向性		□拡充 ☒ 現状維持 □改善・効率化 □縮小 □終期設定 □休止・廃止		
	体育施設及び公園利用者のための駐車場の整備を行い、利便性の向上を図る。				

会計名			ホームタウンパートナー事業				担当部	教育部		
一般会計							担当課	スポーツ課		
款	項	目					担当係	普及係		
10	6	2								
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	スポーツ							
		施策の内容	スポーツを通じたまちづくり							
	目的	全国で活躍するスポーツチームの情報等を市民に周知することで、地域に親しまれるチームづくりに寄与するとともに、「みるスポーツ」の促進を図り、本市の更なるスポーツの活性化に寄与する。				主たる内容	○ホームタウンパートナー連絡会の開催（年3回） ○刈谷キラキラ教室の開催 ○ホームタウンパートナーチーム啓発用リーフレット等の作成 ○ウィングアリーナ（WA）刈谷等での啓発活動の実施			
		位置づけ	関連計画 第3次刈谷市スポーツマスタープラン							
		根拠法令								
		対象者	市民、ホームタウンパートナーチーム		事業期間		平成27年度～			
	実施方法		■直営 □委託 □指定管理 □補助・助成 □その他							
	BDO 事業実績 計画 実施 V	5年度実績		6年度実績		7年度実績		8年度計画		
		・パートナー数 13チーム ・連絡会の開催 3回 ・刈谷キラキラ教室 10回 ・リーフレット、うちわ作成 ・市民だより等でのPR実施 ・WA刈谷及びオアシス館刈谷での常設展示PRの実施 ・刈谷駅南北連絡通路及び観光案内所等でのPRの実施 ・観戦動員の実施 24試合		・パートナー数 12チーム ・連絡会の開催 3回 ・刈谷キラキラ教室 17回 ・リーフレット、うちわ作成 ・市民だより等でのPR実施 ・WA刈谷及びオアシス館刈谷での常設展示PRの実施 ・刈谷駅南北連絡通路及び観光案内所等でのPRの実施 ・観戦動員の実施 19試合		・パートナー数 11チーム ・連絡会の開催 3回 ・刈谷キラキラ教室 13回 ・リーフレット、うちわ作成 ・市民だより等でのPR実施 ・WA刈谷及びオアシス館刈谷での常設展示PRの実施 ・刈谷駅南北連絡通路及び観光案内所等でのPRの実施 ・観戦動員の実施 39試合		・パートナー数 11チーム ・連絡会の開催 3回 ・刈谷キラキラ教室 16回 ・啓発物品の作成 ・市民だよりや各種デジタルサイネージへの掲載、WA刈谷等での常設展示等によるPRの実施 ・観戦動員の実施		
成果		国内最高レベルの試合を間近で観戦できる機会があることを多くの市民に周知することや、ホームゲームへの市民親子招待、トップアスリートによるスポーツ教室等を通して「する・みる・ささえる」というスポーツの多面性の中で、一市民スポーツの推進を図ることができた。								
課題		・パートナー制度の趣旨や目的に対する各チームや母体企業の理解の深化 ・事業推進における各チームをはじめとする関係各所との連携の一層の強化								
指標名称（単位）				実績値		目標値				
				5年度	6年度	7年度	8年度	10年度		
活動指標		参集型刈谷キラキラ教室実施回数（回）			10	8	5	8	8	
活動指標		学校派遣型刈谷キラキラ教室実施回数（回）			0	9	8	8	4	
他市との比較検証		多くの競技のトップレベルに身近で触れることができる、全国的にもあまり類を見ない本市のスポーツ環境は、スポーツ振興を図る上で、本市の大きな強みとなっている。								
C 事業コスト		単位：千円		5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（決算）	8年度（予算）	7年度事業費内訳		
	事業費 ①		759	715	686	505	合計	686,367 円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	需用費	668,987 円		
		一般財源	759	715	686	505	負担金、補助及び交付金	17,380 円		
	職員人件費 ②		4,220	3,982	4,548	4,656				
	総事業費（①＋②）		4,979	4,697	5,234	5,161				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		7年度特定財源名称				
		7年度までの累積事業費		0						
9年度以降の事業費見込		0								

会計名			ホームタウンパートナー事業	担当部	教育部		
一般会計				担当課	スポーツ課		
款	項	目		担当係	普及係		
10	6	2					
C H E D C K ハ 評 価 V	内部評価	各視点からの評価			評価の理由		
		必要性	・ 法的業務 ・ 市民ニーズ、社会需要 ・ 市民生活上必要である など	高い	本市の強み及び特性である様々な競技で日本トップレベルのチームやアスリートが市内に数多く存在している全国的にも恵まれたスポーツ環境を活用した事業であり、地域のスポーツ振興や活性化、本市の魅力発信のために必要性の高い事業である。		
		効率性	・ コストの節減、費用対効果 ・ 執行体制の効率性 ・ 手段の最適性 など	高い	事業の実施にあたって、パートナーチームの理解の下、グッズや観戦機会の提供、地域貢献活動としての本市事業への積極的な協力などをいただいております。協働による取組として、事業の効率性、費用対効果は高いと考えられる。		
		妥当性	・ 市が主体となって実施すべき事業であるか ・ 総合計画との整合性 など	高い	住みよいまちづくりや市の魅力発信のための本市の強みや特性を活用した事業であるため、市が主体的に実施すべきである。		
		施策への貢献度	・ 施策への貢献度 ・ 目標達成度 ・ 市民サービスへの効果 など	高い	第3次刈谷市スポーツマスタープランの施策として推進を図っており、「する、みる、ささえる」スポーツを通じた魅力あるまちづくりに貢献している。		
		今後の方向性		■ 拡充 □ 現状維持 □ 改善・効率化 □ 縮小 □ 終期設定 □ 休止・廃止			
		第3次刈谷市スポーツマスタープランでは、施策のスポーツを通じたまちづくりに位置付けられ、恵まれたスポーツ環境を有する本市だからこそ実施できる特色のある事業である。本事業は、地域のスポーツ振興や活性化、本市の魅力向上・発信のために非常に有益であると考えられるため、今後についても各パートナーチームとの連携の強化等を図り、事業の一層の充実を目指していく。					

会計名			刈谷市スポーツ協会補助事業				担当部		教育部		
一般会計							担当課		スポーツ課		
款	項	目					担当係		指導係		
10	6	2									
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	教育文化								
		基本施策	スポーツ								
		施策の内容	スポーツ活動プログラムの充実								
	目的	市民の健全な心身の発展に寄与することを目的に活動する刈谷市スポーツ協会に対し補助を行い、本市における体育・スポーツ団体を統括するとともに、市民スポーツの普及振興を図る。				主たる内容	○刈谷市長杯大会の開催 ○体育功労者や優秀選手・チーム等の表彰 ○親子スポーツ教室の開催				
		位置づけ									
		関連計画	第3次刈谷市スポーツマスタープラン								
		根拠法令									
	対象者	刈谷市スポーツ協会加盟団体				事業期間	昭和34年度～				
	実施方法	☐ 直営 ☐ 委託 ☐ 指定管理 ☒ 補助・助成 ☐ その他									
	BDO 事業実績 計画V	5年度実績		6年度実績		7年度実績		8年度計画			
・刈谷市長杯総合体育大会の開催 ・国民体育大会選手壮行会の開催 ・親子スポーツ教室の開催		・刈谷市長杯総合体育大会の開催 ・親子スポーツ教室の開催		・刈谷市長杯総合体育大会の開催 ・親子スポーツ教室の開催		・刈谷市長杯総合体育大会の開催 ・親子スポーツ教室の開催					
成果		各種事業を実施し、市民スポーツの普及振興を図るとともに、スポーツ少年団への補助やスポーツ振興事業開設補助によりジュニア育成事業の一層の推進を図り、本市の将来を担う競技者の育成へとつなげた。また、市と協会で連携し、スポーツ大会等の誘致や連携に向けた取組を行い、「みる・ささえるスポーツ」の普及に努めた。									
課題		本市における体育・スポーツ団体の中心的な組織として、継続した活動を行うため、安定した財源確保に努めていく必要がある。									
指標名称（単位）				実績値			目標値				
				5年度	6年度	7年度	8年度	10年度			
活動指標		刈谷市スポーツ協会加盟人数（人）				10,895	10,539	9,639	10,000	11,000	
指標											
他市との比較検証		公益財団法人・・・豊橋市・豊田市・小牧市・名古屋市・岡崎市・安城市 NPO法人・・・犬山市									
C 事業コスト		単位：千円		5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（決算）	8年度（予算）	7年度事業費内訳			
	事業費①		5,300	5,205	5,530	5,200	合計 5,530,000 円				
	財源	特定財源	0	0	0	0	負担金、補助及び交付金 5,530,000 円				
		一般財源	5,300	5,205	5,530	5,200					
	職員人件費②		5,755	5,973	6,202	6,773					
	総事業費（①+②）		11,055	11,178	11,732	11,973					
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		7年度特定財源名称					
		7年度までの累積事業費		0							
9年度以降の事業費見込		0									

会計名			刈谷市スポーツ協会補助事業		担当部	教育部
一般会計					担当課	スポーツ課
款	項	目			担当係	指導係
10	6	2				
C H E D C K ハ 評 価 V	内部評価	各視点からの評価			評価の理由	
		必要性	・ 法的業務 ・ 市民ニーズ、社会需要 ・ 市民生活上必要である など	高い	スポーツに対する市民ニーズが多様化し、今後ますます重要となる生涯スポーツを推進するためには、個々のスポーツ団体を育成支援し、あらゆるスポーツ分野の普及振興を図る協会の活動に対し支援する意義は大きなものであると考えられる。	
		効率性	・ コストの節減、費用対効果 ・ 執行体制の効率性 ・ 手段の最適性 など	普通	適正な補助金を交付し、協会の自主運営及び活発なスポーツ活動を促すことで、本市のスポーツ活動の振興が図られる。	
		妥当性	・ 市が主体となって実施すべき事業であるか ・ 総合計画との整合性 など	高い	第8次刈谷市総合計画及び第3次刈谷市スポーツマスタープランにおいて、クラブ・団体の育成を重要施策として掲げており、あらゆるスポーツ分野に対応できる協会に施策の推進の一助となってもらうことで、円滑なスポーツ行政の推進が期待できる。	
		施策への貢献度	・ 施策への貢献度 ・ 目標達成度 ・ 市民サービスへの効果 など	高い	第8次刈谷市総合計画及び第3次刈谷市スポーツマスタープランにおいて、クラブ・団体の育成を重要施策として掲げており、あらゆるスポーツ分野に対応できる協会活動は、市民スポーツの振興及び市民サービスの提供に大きな効果をもたらしていると考えられる。	
	今後の方向性		☐ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 改善・効率化 ☐ 縮小 ☐ 終期設定 ☐ 休止・廃止			
	これまでの活動を継続して進めるとともに、より一層のジュニア育成事業の推進を図り、本市の将来を担う競技者の育成、拡大に努める。また、これらを強力的に推進するため、今後の協会組織の更なる強化を課題として、調査、研究を実施する。					

会計名			スポーツ推進委員事業				担当部	教育部		
一般会計							担当課	スポーツ課		
款	項	目					担当係	普及係		
10	6	2								
PLAN概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	スポーツ							
		施策の内容	ささえる人材の育成							
	目的	地域のスポーツ推進のために活動するスポーツ推進委員の支援を行うことで、スポーツの機会を提供し、市民スポーツの普及振興を図る。				主たる内容	○研修会等への参加 ○定例会議の開催 ○自主事業の開催 ○啓発冊子の発行 ○市民の要望に応じた実技指導の実施 ○学校、公民館等の教育機関、その他行政機関が行うスポーツ行事又は事業への協力			
		位置づけ	関連計画	第3次刈谷市スポーツマスタープラン						
			根拠法令	スポーツ基本法、刈谷市スポーツ推進委員に関する規則						
		対象者	市民、スポーツ推進委員		事業期間		昭和37年度～			
		実施方法	■直営 □委託 □指定管理 □補助・助成 □その他							
	BDO 事業実績 計画V	5年度実績		6年度実績		7年度実績		8年度計画		
		・自主事業の開催 スポーツふれあいday GOGOウォーキング ノルディック・ウォーク ステーション 計19回 ・啓発冊子の発行 4回 ・地域への推進員派遣 32回 ・かきつばたマラソン等市主催事業への協力 ・定例会等の開催		・自主事業の開催 スポーツふれあいday GOGOウォーキング ノルディック・ウォーク ステーション 計18回 ・啓発冊子の発行 4回 ・地域への推進員派遣 35回 ・かきつばたマラソン等市主催事業への協力 ・定例会等の開催		・自主事業の開催 スポーツふれあいday GOGOウォーキング ノルディック・ウォーク ステーション 計19回 ・啓発冊子の発行 3回 ・地域への推進員派遣 30回 ・かきつばたマラソン等市主催事業への協力 ・定例会等の開催		・自主事業の開催 スポーツふれあいday GOGOウォーキング ノルディック・ウォーク ステーション ・啓発冊子の発行 ・地域への推進員派遣 ・かきつばたマラソン等市主催事業への協力 ・定例会等の開催		
成果		地域のスポーツコーディネーターとして、一市民スポーツの推進に寄与することができた。 支部会及び部会、企画委員会をそれぞれ毎月1回定例で開催することにより、スポーツ推進委員間の情報共有や交流促進、連携強化等が図られ、事業等を円滑に実施することができた。								
課題		・スポーツ推進委員の資質の向上と技能の習得 ・推進委員の高齢化への対策及び人材の確保 ・委員の選定方法や報酬額についての検討								
指標名称（単位）				実績値		目標値				
				5年度	6年度	7年度	8年度	10年度		
成果指標		週1回以上スポーツをしている市民の割合（％）			—	49.4	—	56.7	65.0	
指標										
他市との比較検証		近隣市の推進委員の数（令和7年度） 刈谷市 50人 岡崎市 119人 碧南市 30人 豊田市 158人 安城市 54人 西尾市 56人 知立市 28人 高浜市 25人 みよし市20人 幸田町 18人								
C 事業コスト		単位：千円		5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（決算）	8年度（予算）	7年度事業費内訳		
	事業費 ①		4,065	4,727	4,289	5,651	合計	4,288,960 円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	報酬	3,690,000 円		
		一般財源	4,065	4,727	4,289	5,651	旅費	188,050 円		
								需用費	268,850 円	
	職員人件費 ②		3,069	3,185	3,308	3,386	役務費	78,560 円		
	総事業費（①+②）		7,134	7,912	7,597	9,037	負担金、補助及び交付金	63,500 円		
建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		7年度特定財源名称					
	7年度までの累積事業費		0							
	9年度以降の事業費見込		0							

会計名			スポーツ推進委員事業	担当部	教育部	
一般会計				担当課	スポーツ課	
款	項	目		担当係	普及係	
10	6	2				
C H E D C K ハ 評 価 V	内部評価	各視点からの評価			評価の理由	
		必要性	・ 法的業務 ・ 市民ニーズ、社会需要 ・ 市民生活上必要である など	高い	地域に密着したスポーツ活動を活性化し、生涯スポーツを推進するため、市民の身近な立場の推進役であるスポーツ推進委員の活動は必要である。	
		効率性	・ コストの節減、費用対効果 ・ 執行体制の効率性 ・ 手段の最適性 など	普通	刈谷市スポーツ推進委員協議会を組織し、自主事業を行うなど、市民のスポーツ推進に寄与している。	
		妥当性	・ 市が主体となって実施すべき事業であるか ・ 総合計画との整合性 など	普通	刈谷市におけるスポーツの推進のため、指導と助言を行うとともに、地域と行政のパイプ役あるいはコーディネートをを行っている。	
		施策への貢献度	・ 施策への貢献度 ・ 目標達成度 ・ 市民サービスへの効果 など	高い	スポーツ推進委員の活動を促進し、地域のスポーツ振興施策の充実を図っている。	
	今後の方向性		☐ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 改善・効率化 ☐ 縮小 ☐ 終期設定 ☐ 休止・廃止			
	スポーツ推進委員は、主体的で自立的なコーディネーターとして役割を推進し、地域をコーディネートしながら、市民と協働による健康で豊かなスポーツライフの実現を目指していく。					

会計名			スポーツリーダー養成講座事業				担当部		教育部	
一般会計							担当課		スポーツ課	
款	項	目					担当係		普及係	
10	6	2								

PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化				
		基本施策	スポーツ				
		施策の内容	ささえる人材の育成				
	目的	市民がスポーツ活動に取り組み、継続できるよう、その推進役となるリーダーを育成し、市民スポーツ活動の活性化、継続化を図る。			主たる内容	○専門知識や実績を有する講師によるスポーツリーダー養成講座の開催	
	位置づけ	関連計画	第3次刈谷市スポーツマスタープラン				
		根拠法令					
		対象者	市民		事業期間	平成7年度～	
	実施方法	■直営 □委託 □指定管理 □補助・助成 □その他					

BDO 事業実績 計画 実施 V	5年度実績		6年度実績		7年度実績		8年度計画	
	・スポーツリーダー養成講座開催回数 1回（2コマ） 【講座メニュー】 アクティブ・チャイルド・プログラム 実践編！運動あそび・伝承あそびを使った楽しく遊べる運動指導		スポーツリーダー養成講座開催回数 1回（2コマ） 【講座メニュー】 ・症例から学ぶ熱中症と救命のための身体冷却法 ・けがの予防と解決方法（テーピングの基礎からパフォーマンス向上まで）		スポーツリーダー養成講座開催回数 1回（2コマ） 【講座メニュー】 ・成長発達から見るジュニア期のスポーツ指導 ・令和時代を踏まえた子どもへのスポーツコーチング		スポーツリーダー養成講座開催回数 1回（2コマ）	
	成果	日々進歩する専門知識や最新のスポーツ科学を取り入れた研修機会を継続的に提供することにより、参加者のスポーツリーダー、指導者としての資質や知識の向上に寄与することができた。						
	課題	・スポーツリーダー養成講座修了者を活用する仕組みのさらなる拡充 ・実際の現場で活躍されている指導者たちへの効率的、効果的な啓発や講座内容の選定の際のニーズの把握 ・受講者数の確保						
	指標名称（単位）			実績値			目標値	
				5年度	6年度	7年度	8年度	10年度
	活動指標	スポーツリーダー養成講座修了者数（人）		21	23	36	50	50
	指標							
	他市との比較検証							

C 事業コスト	単位：千円		5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（決算）	8年度（予算）	7年度事業費内訳	
	事業費 ①		40	100	42	74	合計	42,000 円
	財源	特定財源	0	0	0	0	報償費	42,000 円
		一般財源	40	100	42	74		
	職員人件費 ②		1,535	1,593	1,654	1,693		
	総事業費（①＋②）		1,575	1,693	1,696	1,767		
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		7年度特定財源名称		
		7年度までの累積事業費		0				
		9年度以降の事業費見込		0				

会計名			スポーツリーダー養成講座事業	担当部	教育部	
一般会計				担当課	スポーツ課	
款	項	目		担当係	普及係	
10	6	2				
C H E D C K ハ 評 価 V	内部評価	各視点からの評価			評価の理由	
		必要性	・ 法的業務 ・ 市民ニーズ、社会需要 ・ 市民生活上必要である など	普通	市民がスポーツを継続するためには、だれもが気軽に参加できるスポーツプログラムの充実に加え、それを適切に指導する指導者が必要である。	
		効率性	・ コストの節減、費用対効果 ・ 執行体制の効率性 ・ 手段の最適性 など	普通	愛知教育大学等の教育機関及びホームタウンパートナーチーム等スポーツ関係団体と協働して、講座のメニュー作りから指導まで一環して行い、産官学連携によりスポーツ推進に努めている。	
		妥当性	・ 市が主体となって実施すべき事業であるか ・ 総合計画との整合性 など	普通	第3次刈谷市スポーツマスタープランの施策として推進を図っており、プランに掲げる基本理念や基本計画を実現するために、市が主体的に実施していく必要がある。	
		施策への貢献度	・ 施策への貢献度 ・ 目標達成度 ・ 市民サービスへの効果 など	高い	第3次刈谷市スポーツマスタープランの施策として推進を図っており、指導者の資質の向上等に貢献している。	
	今後の方向性		☐ 拡充 ☐ 現状維持 ☒ 改善・効率化 ☐ 縮小 ☐ 終期設定 ☐ 休止・廃止			
	市民のスポーツ活動が多様化、高度化し、指導者へのニーズも質・量ともに増大しており、指導者には、豊かな人間性、競技の専門性、スポーツ環境や条件の管理能力などが求められている。 今後については、技術指導だけでなく、スポーツの多様な楽しみ方の指導など、幅広いマネジメントができる指導者の育成に努めるとともに、講座のテーマや回数について、現場の声やスポーツを取り巻く時代の潮流等も参考にし、決定を行っていく。					

会計名			ニュースポーツ普及事業				担当部	教育部	
一般会計							担当課	スポーツ課	
款	項	目					担当係	普及係	
10	6	2							
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	スポーツ						
		施策の内容	スポーツ活動プログラムの充実						
	目的	生涯スポーツの振興にあたり、ニュースポーツを広く紹介することで、市民が手軽に楽しめる環境づくりを推進する。				主たる内容	○刈谷市スポーツ推進委員協議会への委託によるスポーツふれあいday等の開催		
	位置づけ	関連計画	第3次刈谷市スポーツマスタープラン						
		根拠法令							
		対象者	市民			事業期間	～		
	実施方法	☐ 直営 ☒ 委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助・助成 ☐ その他							
BDO 事業実績 計画 実施 V	5年度実績		6年度実績		7年度実績		8年度計画		
	・スポーツふれあいdayの開催 8回 種目 ソフトバレーボール、ミニテニス、ディスゲッター、ボッチャ等 ・ノルディック・ウォークステーションの開催 10回		・スポーツふれあいdayの開催 8回 種目 ファミリーバドミントン、ソフトバレーボール、ボッチャ、ミニテニス等 ・ノルディック・ウォークステーションの開催 9回		・スポーツふれあいdayの開催 8回 種目 ファミリーバドミントン、ソフトバレーボール、ボッチャ、ミニテニス等 ・ノルディック・ウォークステーションの開催 10回		・スポーツふれあいdayの開催 8回 種目 ファミリーバドミントン、ソフトバレーボール、ボッチャ、ミニテニス等 ・ノルディック・ウォークステーションの開催（月1回）※11月を除く		
	成果	子どもから高齢者まで、多くの市民に、スポーツを始める、スポーツに親しむきっかけ作りを行うことができた。ノルディック・ウォークステーションのアンケートによると、継続的に参加されている市民が多いことから、継続して運動する場を提供することができた。							
	課題	・スポーツをしていない人たちが、スポーツに対して興味・関心を持ち、スポーツ活動に参加したくなるような効率的、効果的な啓発 ・競技種目の継続実施を希望する方々に向けた、既存競技団体等への橋渡しや受け皿の確保 ・効率的なイベント開催によるスポーツ推進委員の負担の軽減							
	指標名称（単位）				実績値		目標値		
					5年度	6年度	7年度	8年度	10年度
	活動指標	スポーツふれあいday一般参加者数（人）			468	549	459	520	540
	成果指標	ノルディック・ウォークステーション一般参加者数（人）			137	151	251	200	220
	他市との比較検証								
	C 事業コスト	単位：千円		5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（決算）	8年度（予算）	7年度事業費内訳	
事業費 ①		200	200	200	200	合計	200,000 円		
財源		特定財源	0	0	0	0	委託料	200,000 円	
		一般財源	200	200	200	200			
職員人件費 ②		1,535	1,593	1,654	1,693				
総事業費（①＋②）		1,735	1,793	1,854	1,893				
建設事業		全体事業費（単位：千円）		0		7年度特定財源名称			
		7年度までの累積事業費		0					
		9年度以降の事業費見込		0					

会計名			ニュースポーツ普及事業		担当部	教育部
一般会計					担当課	スポーツ課
款	項	目			担当係	普及係
10	6	2				
C H E D C K ハ 評 価 V	内部評価	各視点からの評価			評価の理由	
		必要性	・ 法的業務 ・ 市民ニーズ、社会需要 ・ 市民生活上必要である など	高い	スポーツをしていない市民がスポーツ活動に参加できる機会の拡大を図るために必要な事業である。	
		効率性	・ コストの節減、費用対効果 ・ 執行体制の効率性 ・ 手段の最適性 など	普通	地域スポーツの推進役であるスポーツ推進委員による「スポーツふれあいday」等を開催し、市民が継続してスポーツに取り組むよう努めている。	
		妥当性	・ 市が主体となって実施すべき事業であるか ・ 総合計画との整合性 など	普通	市民がスポーツに興味・関心を持ち、スポーツ活動に参加できるようにすることは、市が主体的に取り組むべき事業である。	
		施策への貢献度	・ 施策への貢献度 ・ 目標達成度 ・ 市民サービスへの効果 など	普通	世代や性別に関係なく、だれもが取り組むことができるニュースポーツの普及に取り組むことで、施策の推進に貢献している。	
	今後の方向性		☐ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 改善・効率化 ☐ 縮小 ☐ 終期設定 ☐ 休止・廃止			
	すべての市民にとってスポーツは、健康の維持増進、体力向上、生きがいの創出など、心身ともに健康を維持するうえで重要な役割を果たしている。 だれでも、いつでも、どこでも、いつまでもスポーツ活動に取り組むことができるよう、さまざまなプログラムの充実を図り、スポーツ活動に参加できる機会の拡大を図っていく。					

会計名			かきつばたマラソン大会開催事業				担当部		教育部		
一般会計							担当課		スポーツ課		
款	項	目					担当係		指導係		
10	6	2									
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化								
		基本施策	スポーツ								
		施策の内容	スポーツ活動プログラムの充実								
	目的	マラソン競技者の拡大及び市民のスポーツ競技の参加意欲の増進を図り、体力づくりと健康増進、生涯スポーツの振興を図る。				主たる内容	年齢別男女別の1.5km、3km、10kmのマラソンコースと誰でも気軽に参加できるジョギングコースを設定し市民マラソン大会を開催する。				
		位置づけ									
		関連計画	第3次刈谷市スポーツマスタープラン								
		根拠法令									
	対象者	対象者を限定せず				事業期間	昭和48年度～				
	実施方法	☐ 直営 ☐ 委託 ☐ 指定管理 ☒ 補助・助成 ☐ その他									
	BDO 事業実績 計画 実施 V	5年度実績		6年度実績		7年度実績		8年度計画			
参加者数計 1,591人 ・1.5km（小学生） 97人 ・3km（中学生） 34人 ・3km（ジョギング） 347人 ・10km（一般） 1,113人		参加者数計 1,790人 ・1.5km（小学生） 80人 ・3km（中学生） 29人 ・3km（ジョギング） 460人 ・10km（一般） 1,221人		参加者数計 1,920人 ・1.5km（小学生） 88人 ・3km（中学生） 56人 ・3km（ジョギング） 423人 ・10km（一般） 1,353人		参加見込者数 2,000人 1.5km、3km、10kmコースを男女別、年齢別の計10部門で開催する。					
成果		コースや運営方法等の見直しなど、関連団体と協議を行いながら安全な開催方法を検討するとともに、75周年記念事業として特別ゲストを招くことでより多くの方に大会をPRすることができ、市民の体力づくりと健康増進、スポーツの振興を図ることができた。									
課題		参加者の安全面を第一に配慮した企画運営を実施し、引き続き参加者数に対応したコースや運営方法の検討が必要である。また、本市の特色をさらに生かし、参加者のニーズにあった本大会の方向性の検討が必要である。									
指標名称（単位）				実績値			目標値				
				5年度	6年度	7年度	8年度	10年度			
活動指標		参加者数（人）				1,591	1,790	1,920	2,000	2,000	
指標											
他市との比較検証		県内の多くの自治体で、同様の市民マラソン大会が実施されている。（知立市・安城市・岡崎市・豊田市・大府市・高浜市・みよし市・犬山市など）									
C 事業コスト		単位：千円		5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（決算）	8年度（予算）	7年度事業費内訳			
	事業費 ①		2,248	2,229	4,494	2,860	合計 4,493,961 円				
	財源	特定財源	0	0	0	0	需用費 51,700 円				
		一般財源	2,248	2,229	4,494	2,860	役務費 21,000 円				
	職員人件費 ②		5,218	5,415	5,209	5,757	原材料費 491,040 円				
	総事業費（①+②）		7,466	7,644	9,703	8,617	備品購入費 276,309 円				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		7年度特定財源名称		負担金、補助及び交付金 3,653,912 円			
		7年度までの累積事業費		0							
9年度以降の事業費見込		0									

会計名			かきつばたマラソン大会開催事業	担当部	教育部
一般会計				担当課	スポーツ課
款	項	目		担当係	指導係
10	6	2			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	・ 法的業務 ・ 市民ニーズ、社会需要 ・ 市民生活上必要である など		高い	一市民スポーツの振興を図るため、幅広い年代の市民が気軽に参加できる事業として必要である。
	効率性	・ コストの節減、費用対効果 ・ 執行体制の効率性 ・ 手段の最適性 など		普通	かきつばたマラソン大会実行委員会へ事業補助金を交付することにより、事務の効率化を図る。
	妥当性	・ 市が主体となって実施すべき事業であるか ・ 総合計画との整合性 など		普通	第8次刈谷市総合計画では、スポーツ活動プログラムの充実として、市民がスポーツ活動に参加できる機会の提供を掲げており、計画推進に必要な事業であると考えられる。
	施策への貢献度	・ 施策への貢献度 ・ 目標達成度 ・ 市民サービスへの効果 など		高い	多くの市民がスポーツに親しみ、スポーツ活動に参加できる機会を提供する環境づくりにおいて、貢献している。
	今後の方向性		□拡充 ■現状維持 □改善・効率化 □縮小 □終期設定 □休止・廃止		
	市民が生活の中でスポーツに興味や関心を持つため、スポーツに参加できる機会を設けることで、気軽にスポーツをはじめるきっかけづくりや体力の向上及び健康増進を図る。 また、市民がスポーツ活動をする形態として、自分一人や、家族、友人など個人やごく身近な人との少数での活動が多くなっている現状の受け皿として、市民ニーズに即した事業の推進を図る。				

会計名			刈谷サッカーフェスティバル開催事業				担当部		教育部	
一般会計							担当課		スポーツ課	
款	項	目					担当係		指導係	
10	6	2								
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	スポーツ							
		施策の内容	スポーツ活動プログラムの充実							
	目的	市制施行75周年を記念し、サッカーのまち刈谷をPRするとともに、子どもたちの夢や希望を育み、サッカーの技術力向上と一層の振興を図る。				主たる内容	○元日本代表選手及び現役Jリーガーによるトークショー ○小中学生を対象とした元日本代表選手等によるサッカー教室 ○元日本代表選手チームと刈谷市選抜チーム等とのドリームマッチ			
		位置づけ								
		関連計画	第3次刈谷市スポーツマスタープラン							
		根拠法令								
	対象者	市民			事業期間	令和7年度～令和7年度				
	実施方法	☐ 直営 ☒ 委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助・助成 ☐ その他								
	BDO 事業実績 計画 実施 V	5年度実績		6年度実績		7年度実績		8年度計画		
				男子及び女子サッカーの元日本代表選手と現役Jリーガー合わせて16人を招聘し、トークショー、サッカー教室、ドリームマッチを実施した。 ・開催日 令和8年2月1日 ・会場 ウェーブスタジアム 刈谷ほか						
成果		16人の元日本代表選手等によるトークショーやサッカー教室、ドリームマッチを実施することにより、市民がサッカーに興味や関心を持ち、サッカーのまち刈谷を再認識する一助となった。								
課題		チーム等との契約の関係等で、招聘する元日本代表選手等の情報がイベント直前にしか公表できなかったため、効果的な広報の方法に課題がある。また、トークショー、サッカー教室、ドリームマッチのいずれかにしか参加しない来場者が多かったため、イベント構成や観客動員手法も課題である。								
指標名称（単位）				実績値		目標値				
				5年度	6年度	7年度	8年度	10年度		
成果指標		来場者（人）				—	—	1,000	—	—
指標										
他市との比較検証		サッカーの元日本代表選手が本市サッカー連盟に所属しているため、その専門的な関係性により実施できる本市独自の事業である。								
C 事業コスト		単位：千円		5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（決算）	8年度（予算）	7年度事業費内訳		
	事業費 ①		0	0	3,500	0	合計	3,500,000 円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	委託料	3,500,000 円		
		一般財源	0	0	3,500	0				
	職員人件費 ②		0	0	1,736	0				
	総事業費（①＋②）		0	0	5,236	0				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		7年度特定財源名称				
		7年度までの累積事業費		0						
		9年度以降の事業費見込		0						

会計名			刈谷サッカーフェスティバル開催事業	担当部	教育部
一般会計				担当課	スポーツ課
款	項	目		担当係	指導係
10	6	2			
C H E D C K ハ 評 価 シ ト	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	・ 法的業務 ・ 市民ニーズ、社会需要 ・ 市民生活上必要である など		高い	市民が、サッカーのまちを知り親しむきっかけとなり、生涯スポーツ社会の実現に向け、必要な事業であると考えられる。
	効率性	・ コストの節減、費用対効果 ・ 執行体制の効率性 ・ 手段の最適性 など		高い	刈谷市サッカー連盟へ事業を委託することにより、職員の負担を減らすとともに、サッカー連盟のもつ専門的な関係性により、予算の範囲内で16人もの元日本代表選手等を招聘することができたと考えられる。
	妥当性	・ 市が主体となって実施すべき事業であるか ・ 総合計画との整合性 など		高い	第8次刈谷市総合計画では、スポーツ活動プログラムの充実として、市民がスポーツに興味や関心を持ち、スポーツ活動に参加できるよう掲げており、計画推進に寄与できた事業であると考えられる。
	施策への貢献度	・ 施策への貢献度 ・ 目標達成度 ・ 市民サービスへの効果 など		普通	市民がスポーツに興味や関心を持つため、元日本代表選手等の一流のプレイヤーと触れ合える機会を設けることで、スポーツをはじめるきっかけづくりとなったと考えられる。
	今後の方向性		☐ 拡充 ☐ 現状維持 ☐ 改善・効率化 ☐ 縮小 ☐ 終期設定 ☐ 休止・廃止		
	市制75周年記念事業と位置付け実施したもので、次年度以降の実施は未定。				

会計名			アスリート等支援事業				担当部		教育部		
一般会計							担当課		スポーツ課		
款	項	目					担当係		指導係		
10	6	2									
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	教育文化								
		基本施策	スポーツ								
		施策の内容	スポーツ活動プログラムの充実								
	目的	世界・全国トップレベルで活躍する刈谷市にゆかりのある有力選手等を発掘し、市民が一体となって応援することにより、各種競技の技術力向上と普及振興を図るとともに、市民のスポーツへの関心を高める。				主たる内容	○国際大会、全国大会等に出場する選手に激励金を支給し大会での活躍を応援 ○国際大会、全国トップレベルの大会で活躍している選手やチームを「刈谷アスリート」に認定 ○認定者に対するウイングアリーナ刈谷や市ホームページ等における広報及びウイングアリーナ刈谷内トレーニングルーム等の利用支援				
		位置づけ									
		関連計画									
	根拠法令										
	対象者		市民			事業期間		令和7年度～			
	実施方法		■直営 □委託 □指定管理 □補助・助成 □その他								
	B 事業実績 実績 O 実施 V	5年度実績		6年度実績		7年度実績		8年度計画			
※各種大会出場選手激励事業にて実施 ・激励金 交付人数 523人 交付金額 3,785,000円		※各種大会出場選手激励事業にて実施 ・激励金 交付人数 457人 交付金額 3,566,000円		・激励金 交付人数 440人 交付金額 3,560,000円 ・刈谷アスリート 認定者数 9人		・激励金 交付人数 500人 交付金額 4,800,000円 ・刈谷アスリート 認定者数 12人					
成果		本市から世界大会や全国大会等へ出場する選手に対して、激励金を交付することにより大会の活躍を願い激励する他、世界や全国トップレベルで活躍している選手を刈谷アスリートに任命し、PRや支援をすることにより、スポーツ振興と競技力向上に努めるとともに、全国大会等出場選手の把握に努めることができた。									
課題		申請基準を満たしていても申請のない選手がいることから、各種大会に出場する選手等に対して当事業の制度や基準等について広く周知していく必要がある。									
指標名称（単位）				実績値			目標値				
				5年度	6年度	7年度	8年度	10年度			
活動指標		激励金交付人数（人）			523	457	440	500	500		
活動指標		刈谷アスリート認定者数（人）			—	—	9	12	20		
他市との比較検証		激励金制度については多くの自治体で同様の制度があるが、刈谷アスリート認定制度については県内では豊田市、岡崎市に類似の制度がある。									
C 事業コスト		単位：千円		5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（決算）	8年度（予算）	7年度事業費内訳			
	事業費 ①		0	0	3,656	5,268	合計 3,656,300 円				
	財源	特定財源	0	0	0	0	報償費 3,560,000 円				
		一般財源	0	0	3,656	5,268	需用費 3,850 円				
	職員人件費 ②		0	0	1,819	3,132	委託料 92,450 円				
	総事業費（①+②）		0	0	5,475	8,400					
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		7年度特定財源名称					
		7年度までの累積事業費		0							
9年度以降の事業費見込		0									

会計名			アスリート等支援事業	担当部	教育部		
一般会計				担当課	スポーツ課		
款	項	目		担当係	指導係		
10	6	2					
C H E D C K ハ 評 価 V	内部評価	各視点からの評価			評価の理由		
		必要性	・ 法的業務 ・ 市民ニーズ、社会需要 ・ 市民生活上必要である など	高い	全国大会等に出場する選手に激励金を交付したり、世界や全国トップレベルで活躍するアスリートを支援することで、本市から輩出されるトップアスリートの育成に努めるとともに、スポーツのまちかりやのPRに寄与することが見込まれる。		
		効率性	・ コストの節減、費用対効果 ・ 執行体制の効率性 ・ 手段の最適性 など	普通	激励金制度の交付金額等は各自治体でまちまちであるが、本市は大会規模により差を設けており、本市に在住在勤のトップレベルで活躍するアスリートの把握に効果的である。また、刈谷アスリートに認定した選手等が活躍することにより本市のスポーツ推進に寄与することが見込まれる。		
		妥当性	・ 市が主体となって実施すべき事業であるか ・ 総合計画との整合性 など	普通	スポーツの盛んなまちかりやを目指すために、市が主体となって進める事業である。		
		施策への貢献度	・ 施策への貢献度 ・ 目標達成度 ・ 市民サービスへの効果 など	普通	競技者の育成、拡大の観点から、本事業は効果がある。		
		今後の方向性		☐ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 改善・効率化 ☐ 縮小 ☐ 終期設定 ☐ 休止・廃止			
		本市に在住在勤でも制度を知らない選手等がいると考えられることから、制度の周知方法の検討を行う。また、競技や大会が多様化していることから、必要に応じて基準の見直しを検討する必要性がある。					

会計名			総合型地域スポーツクラブ育成事業				担当部		教育部		
一般会計							担当課		スポーツ課		
款	項	目					担当係		普及係		
10	6	2									
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	教育文化								
		基本施策	スポーツ								
		施策の内容	クラブ・団体の育成								
	目的	地域のスポーツ振興のみならず、スポーツを通じた地域コミュニティの形成、青少年育成、高齢者や障害のある人の社会参画の場としての効果を期待する総合型地域スポーツクラブの育成を図る。				主たる内容	○各クラブの自立に向けた調査研究（刈谷市総合型地域スポーツクラブ研究会の開催）				
		位置づけ	関連計画								
		スポーツ基本計画（国）、第3次刈谷市スポーツマスタープラン									
		根拠法令									
	スポーツ基本法										
	対象者		市民		事業期間		平成16年度～				
	実施方法		☐ 直営 ☒ 委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助・助成 ☐ その他								
BDO 事業実績 計画V	5年度実績		6年度実績		7年度実績		8年度計画				
	・刈谷市総合型地域スポーツクラブ研究会 研究会開催回数 6回 バドミントン交流会の開催 1回 卓球交流会の開催 1回 講習会の開催 1回		・刈谷市総合型地域スポーツクラブ研究会 研究会開催回数 6回 バドミントン交流会の開催 1回 卓球交流会の開催 1回 講習会の開催 1回		・刈谷市総合型地域スポーツクラブ研究会 研究会開催回数 6回 バドミントン交流会の開催 1回 卓球交流会の開催 1回 講習会の開催 1回		・刈谷市総合型地域スポーツクラブ研究会 研究会開催回数 6回 バドミントン交流会の開催 1回 卓球交流会の開催 1回 講習会の開催 1回				
	成果		研究会の開催によるクラブ間の定期的な情報共有や意見交換、研究会での協議を基にした講習会やバドミントン交流会等の開催などにより、各クラブの活動の充実やクラブスタッフの資質の向上等を図ることができた。								
	課題		会員の確保、活動拠点の確保、安定的な財源の確保、運営スタッフの充実、組織力の強化等、各クラブの自立及び経営の安定化に向けた新たな支援の検討								
	指標名称（単位）				実績値			目標値			
					5年度	6年度	7年度	8年度	10年度		
	成果指標	総合型地域スポーツクラブ加入者数（人）			1,663	1,843	1,859	1,900	2,100		
	指標										
	他市との比較検証		近隣市町のクラブ設立状況 岡崎市3クラブ、豊田市13クラブ、碧南市1クラブ、安城市2クラブ、西尾市4クラブ、みよし市3クラブ、知立市1クラブ、高浜市2クラブ、幸田町2クラブ								
	C 事業コスト	単位：千円		5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（決算）	8年度（予算）	7年度事業費内訳			
事業費 ①		250	250	190	190	合計	190,000 円				
財源		特定財源	0	0	0	0	委託料	190,000 円			
		一般財源	250	250	190	190					
職員人件費 ②		2,686	2,787	2,894	2,963						
総事業費（①＋②）		2,936	3,037	3,084	3,153						
建設事業		全体事業費（単位：千円）		0		7年度特定財源名称					
		7年度までの累積事業費		0							
	9年度以降の事業費見込		0								

会計名			総合型地域スポーツクラブ育成事業	担当部	教育部	
一般会計				担当課	スポーツ課	
款	項	目		担当係	普及係	
10	6	2				
C H E D C K ハ 評 価 V	内部評価	各視点からの評価			評価の理由	
		必要性	・ 法的業務 ・ 市民ニーズ、社会需要 ・ 市民生活上必要である など	高い	総合型地域スポーツクラブには、実施種目や世代の多様性などの特性から、スポーツ振興のみならず、地域コミュニティの形成や青少年の健全育成、高齢者等の社会参画の場の提供などの役割が期待できるため、クラブの育成を支援していく必要性は高い。	
		効率性	・ コストの節減、費用対効果 ・ 執行体制の効率性 ・ 手段の最適性 など	普通	自主財源により継続的に運営できるよう執行体制、運営方法や活動内容を整理し、会員を確保できるよう一層の啓発活動と活動内容の充実を図るためには、クラブの育成を支援していくことが有効である。	
		妥当性	・ 市が主体となって実施すべき事業であるか ・ 総合計画との整合性 など	高い	地域住民が主体的な運営ができるようにするためには、市がクラブの育成支援に取り組むことが必要である。	
		施策への貢献度	・ 施策への貢献度 ・ 目標達成度 ・ 市民サービスへの効果 など	高い	第3次刈谷市スポーツマスタープランの施策として推進を図っており、活動の充実やスタッフの資質の向上等、市内各クラブの育成に貢献している。また、中学校区ごとに設立された各クラブは、住民が気軽にスポーツ活動等に参加できる場としての役割を果たすことができている。	
	今後の方向性		☐ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 改善・効率化 ☐ 縮小 ☐ 終期設定 ☐ 休止・廃止			
	運営補助金の交付については、削減計画に基づき削減を進めてきた結果として平成29年度末をもって終了となったが、クラブ運営の基本である自主・自立に向け、引き続き定期的な研究会の開催により、各クラブ間の情報共有や意見交換、アドバイザーからの助言聴取等を図るとともに、各クラブの運営の安定化に向けた財源確保策等の検討を進めていく。					

会計名			ウイングアリーナ刈谷等施設管理事業				担当部		教育部	
一般会計							担当課		スポーツ課	
款	項	目					担当係		業務係	
10	6	3								
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	スポーツ							
		施策の内容	施設の整備・充実・開放							
	目的	ウイングアリーナ刈谷等の管理及び運営を適切に行い、市民サービスの向上を図る。				主たる内容	○体育施設の管理・運営 ○体育施設の利用受付 ○自主事業の開催			
		位置づけ	関連計画	第3次刈谷市スポーツマスタープラン						
		位置づけ	根拠法令	刈谷市体育施設条例						
		対象者	施設利用者		事業期間		平成19年度～			
	実施方法		■直営 □委託 ■指定管理 □補助・助成 □その他							
	BDO 事業実績 計画V	5年度実績		6年度実績		7年度実績		8年度計画		
		・指定管理者による管理運営 ・ウイングアリーナ刈谷 利用者数 335,507人		・指定管理者による管理運営 ・屋内用グラウンド・ゴルフ 用具の購入 ・ウイングアリーナ刈谷 利用者数 218,946人		・指定管理者による管理運営 ・ウイングアリーナ刈谷 利用者数 311,016人		・指定管理者による管理運営		
成果		民間のノウハウを生かし、効率的な管理運営や各種事業が実施できた。								
課題		指定管理者の自主事業や新たな提案等を検討し、さらなる施設の活用を検討する必要がある。								
指標名称（単位）				実績値		目標値				
				5年度	6年度	7年度	8年度	10年度		
活動指標		スポーツ教室指定事業参加者数（人）			6,233	6,421	6,585	6,700	6,900	
成果指標		週1回以上スポーツをしている市民の割合（％）			—	49.4	—	56.8	64.2	
他市との比較検証		他市の施設管理、指定管理 直営 安城市、豊田市、西尾市、岡崎市、みよし市 知立市、碧南市、高浜市								
C 事業コスト		単位：千円		5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（決算）	8年度（予算）	7年度事業費内訳		
	事業費 ①		291,681	290,265	288,041	319,136	合計	288,041,159 円		
	財源	特定財源	71,527	35,207	67,214	112,131	需用費	81,100,384 円		
		一般財源	220,154	255,058	220,827	207,005	役務費	1,265,900 円		
	職員人件費 ②		2,302	2,389	2,481	2,540	委託料	201,478,570 円		
	総事業費（①＋②）		293,983	292,654	290,522	321,676	使用料及び賃借料	4,196,305 円		
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		7年度特定財源名称				
		7年度までの累積事業費		0		ウイングアリーナ刈谷等使用料				
9年度以降の事業費見込		0		行政財産目的外使用料 各種返還金						

会計名			ウィングアリーナ刈谷等施設管理事業	担当部	教育部
一般会計				担当課	スポーツ課
款	項	目		担当係	業務係
10	6	3			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	・ 法的業務 ・ 市民ニーズ、社会需要 ・ 市民生活上必要である など		高い	市民が利用できる施設の維持管理に必要な事業である。
	効率性	・ コストの節減、費用対効果 ・ 執行体制の効率性 ・ 手段の最適性 など		普通	計画的な経費の執行が必要である。
	妥当性	・ 市が主体となって実施するべき事業であるか ・ 総合計画との整合性 など		高い	市民がスポーツ活動に参加しやすい環境づくりを推進する事業であり、市の主体的な関与が必要である。
	施策への貢献度	・ 施策への貢献度 ・ 目標達成度 ・ 市民サービスへの効果 など		高い	スポーツを通じたまちづくりに寄与している。
	今後の方向性		□ 拡充 ☒ 現状維持 □ 改善・効率化 □ 縮小 □ 終期設定 □ 休止・廃止		
	引き続き、利用者が安全快適にスポーツ活動に取り組むことができるよう、適正な維持管理を行う。				

会計名			体育館等施設管理事業				担当部		教育部	
一般会計							担当課		スポーツ課	
款	項	目					担当係		業務係	
10	6	3								
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	スポーツ							
		施策の内容	施設の整備・充実・開放							
	目的	体育館等の施設管理及び運営を適切に行い 市民サービスの向上を図る。				主たる内容	○体育施設の管理、運営			
		位置づけ	関連計画	第3次刈谷市スポーツマスタープラン						
		根拠法令	スポーツ基本法、刈谷市体育施設条例							
	対象者	施設利用者			事業期間	平成19年度～				
	実施方法	■直営 ■委託 ■指定管理 □補助・助成 □その他								
	BDO 事業実績 計画V	5年度実績		6年度実績		7年度実績		8年度計画		
		・指定管理者及び直営による 管理運営 ・刈谷市体育館 利用者数 148,139人		・指定管理者及び直営による 管理運営 ・屋内用グラウンド・ゴルフ 用具の購入 ・刈谷市体育館 利用者数 187,468人		・指定管理者及び直営による 管理運営 ・刈谷市体育館 利用者数 158,719人		・指定管理者及び直営による 管理運営		
成果		指定管理者による管理運営により施設を安全に運営することができた。								
課題		体育館の施設維持老朽化対策を検討する必要がある。								
指標名称（単位）				実績値		目標値				
				5年度	6年度	7年度	8年度	10年度		
活動 指標		刈谷市体育館個人利用者数（人）			22,098	19,995	20,804	21,200	22,000	
成果 指標		週1回以上スポーツをしている市民の割合（％）			—	49.4	—	56.8	64.2	
他市との 比較検証		他市の状況、指定管理 直営 豊田市、西尾市、岡崎市、みよし市 安城市、知立市、碧南市、高浜市								
C 事業コスト		単位：千円		5年度 （決算）	6年度 （決算）	7年度 （決算）	8年度 （予算）	7年度 事業費内訳		
	事業費 ①		185,788	197,791	233,412	277,342	合計 233,411,852 円			
	財 源	特定財源	35,508	60,085	42,774	31,911	需用費 677,790 円			
		一般財源	150,280	137,706	190,638	245,431	役務費 483,991 円			
	職員人件費 ②		2,302	2,389	2,481	2,540	委託料 232,249,871 円			
	総事業費（①+②）		188,090	200,180	235,893	279,882	負担金、補助及び 交付金 200 円			
	建設 事業	全体事業費（単位：千円）		0		7年度特定財源名称				
		7年度までの累積事業費		0		体育館使用料、刈谷球場使用 料、グラウンド等使用料				
9年度以降の事業費見込		0		行政財産目的外使用料 体育施設証明手数料						

会計名			体育館等施設管理事業	担当部	教育部
一般会計				担当課	スポーツ課
款	項	目		担当係	業務係
10	6	3			
C H E D C K ハ 評 価 シ ト	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	・ 法的業務 ・ 市民ニーズ、社会需要 ・ 市民生活上必要である など		高い	市民が利用できる施設の維持管理に必要な事業である。
	効率性	・ コストの節減、費用対効果 ・ 執行体制の効率性 ・ 手段の最適性 など		普通	計画的な経費の執行が必要である。
	妥当性	・ 市が主体となって実施するべき事業であるか ・ 総合計画との整合性 など		高い	市民がスポーツ活動に参加しやすい環境づくりを推進する事業であり、市の主体的な関与が必要である。
	施策への貢献度	・ 施策への貢献度 ・ 目標達成度 ・ 市民サービスへの効果 など		普通	スポーツを通じたまちづくりに寄与しているが、老朽化は課題である。
	今後の方向性		□ 拡充 ☒ 現状維持 □ 改善・効率化 □ 縮小 □ 終期設定 □ 休止・廃止		
	引き続き、利用者が安全快適にスポーツ活動に取り組むことができるよう、適正な維持管理を行う。				

会計名			ウイングアリーナ刈谷等施設改修事業				担当部		教育部	
一般会計							担当課		スポーツ課	
款	項	目					担当係		業務係	
10	6	3								
PLANハ計画V	事業概要	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
			基本施策	スポーツ						
			施策の内容	施設の整備・充実・開放						
		目的	施設機能を拡充することにより、市民のスポーツ需要への対応と健康増進を図る。				主たる内容	○ウイングアリーナ刈谷等の改修工事等		
	位置づけ	関連計画	第3次刈谷市スポーツマスタープラン							
		根拠法令	スポーツ基本法							
	対象者		施設利用者			事業期間	平成21年度～			
	実施方法		☐ 直営 ☒ 委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助・助成 ☐ その他							
	BDOハ実施V	事業実績	5年度実績		6年度実績		7年度実績		8年度計画	
・ウイングアリーナ刈谷メインアリーナ等天井改修工事設計 ・ウェーブスタジアム刈谷等バリアフリー改修工事（R4繰越分） ・グリーングラウンド刈谷人工芝改修工事 ・ウェーブスタジアム刈谷改修工事			・ウイングアリーナ刈谷等長期修繕計画作成 ・ウイングアリーナ刈谷空調設備改修工事（R5繰越分） ・ウイングアリーナ刈谷メインアリーナ等天井改修工事 ・ウェーブスタジアム刈谷空調設備改修工事		・ウイングアリーナ刈谷サブアリーナ照明LED化改修工事（R6繰越分） ・ウイングアリーナ刈谷空調設備改修工事		・ウェーブスタジアム刈谷トップコート改修工事 ・ウェーブスタジアム刈谷スタンド便所改修工事（R7繰越分） ・ウイングアリーナ刈谷メインアリーナ音響設備改修工事			
成果			施設整備により利用者の安全性や利便性の向上を図った。							
課題			今後、施設の老朽化により予期しない修繕等も考えられるため、日頃の点検を強化した上で維持管理計画を検討する必要がある。							
指標名称（単位）			実績値			目標値				
		5年度	6年度	7年度	8年度	10年度				
成果指標		利用者満足度（％）	88.0	89.4	88.8	89.5	90.0			
指標										
比較検証		他市との比較検証	公認陸上競技場 第1種 名古屋市（パロマ瑞穂スタジアム） 第2種 知多市 第3種 名古屋市（パロマ瑞穂北陸上競技場）、豊橋市、豊川市、一宮市、半田市、豊田市、刈谷市							
		単位：千円		5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（決算）	8年度（予算）	7年度事業費内訳		
C事業コスト	事業費 ①		456,899	894,613	161,293	59,300	合計	161,293,220 円		
	財源	特定財源	376,762	826,321	114,658	27,000	工事請負費	161,293,220 円		
		一般財源	80,137	68,292	46,635	32,300				
	職員人件費 ②		1,918	4,380	2,067	2,117				
	総事業費（①＋②）		458,817	898,993	163,360	61,417				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		7年度特定財源名称				
		7年度までの累積事業費		0		公共施設維持保全基金繰入金 前年度繰越金				
9年度以降の事業費見込		0								

会計名			ウィングアリーナ刈谷等施設改修事業	担当部	教育部
一般会計				担当課	スポーツ課
款	項	目		担当係	業務係
10	6	3			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	・ 法的業務 ・ 市民ニーズ、社会需要 ・ 市民生活上必要である など		高い	市民が利用できる施設の拡充に必要な事業である。
	効率性	・ コストの節減、費用対効果 ・ 執行体制の効率性 ・ 手段の最適性 など		普通	計画的な経費の執行が必要である。
	妥当性	・ 市が主体となって実施するべき事業であるか ・ 総合計画との整合性 など		高い	市民がスポーツ活動に参加しやすい環境づくりを推進する事業であり、市の主体的な関与が必要である。
	施策への貢献度	・ 施策への貢献度 ・ 目標達成度 ・ 市民サービスへの効果 など		高い	スポーツ施設の計画的な整備に寄与している。
	今後の方向性		□拡充 ☒ 現状維持 □改善・効率化 □縮小 □終期設定 □休止・廃止		
	施設が存続する限り計画的な施設整備（公認工事への対応、国際大会向けの整備計画）が必要である。				

会計名			亀城グラウンド整備事業				担当部		教育部					
一般会計							担当課		スポーツ課					
款							項		目		担当係		業務係	
10							6		3					

PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	教育文化								
		基本施策	スポーツ								
		施策の内容	施設の整備・充実・開放								
	目的	逢妻川河川敷にサッカー場や多目的グラウンド等のスポーツ施設を整備することにより市民のスポーツ需要への対応と健康増進を図る。				主たる内容	○亀城グラウンド内に水洗トイレを1基設置するトイレ整備工事 ○堰の川跡地の駐車場整備				
		位置づけ									
		関連計画	第3次刈谷市スポーツマスタープラン								
		根拠法令	スポーツ基本法								
	対象者	施設利用者				事業期間	～ 令和7年度				
	実施方法	■直営 □委託 □指定管理 □補助・助成 □その他									

BDO 事業実績 計画V	5年度実績		6年度実績		7年度実績		8年度計画			
			※（仮称）逢妻川河川敷運動広場整備事業にて実施		（R6繰越分） ・亀城グラウンドトイレ整備工事 ・堰の川駐車場整備工事					
	成果	施設整備により利用者の安全性や利便性の向上を図った。								
	課題	今後、施設の老朽化により予期しない修繕等も考えられるため、日頃の点検を強化した上で維持管理計画を検討する必要がある。								
	指標名称（単位）				実績値		目標値			
					5年度	6年度	7年度	8年度	10年度	
	成果指標	整備工事進捗率（％）				—	—	100.0	—	—
	活動指標									
	他市との比較検証	市独自の事業である。								

C 事業コスト	単位：千円		5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（決算）	8年度（予算）	7年度事業費内訳	
	事業費 ①		0	0	75,068	0	合計	75,068,400 円
	財源	特定財源	0	0	75,068	0	工事請負費	75,068,400 円
		一般財源	0	0	0	0		
	職員人件費 ②		0	0	2,067	0		
	総事業費（①＋②）		0	0	77,135	0		
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0	7年度特定財源名称			
		7年度までの累積事業費		0	前年度繰越金			
		9年度以降の事業費見込		0				

会計名			亀城グラウンド整備事業	担当部	教育部
一般会計				担当課	スポーツ課
款	項	目		担当係	業務係
10	6	3			
C H E D C K ハ 評 価 シ ト	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	・ 法的業務 ・ 市民ニーズ、社会需要 ・ 市民生活上必要である など		普通	新たに駐車場や水洗トイレを整備することは衛生面及び利便性向上につながり、必要性がある。
	効率性	・ コストの節減、費用対効果 ・ 執行体制の効率性 ・ 手段の最適性 など		普通	計画的な経費の執行が必要である。
	妥当性	・ 市が主体となって実施するべき事業であるか ・ 総合計画との整合性 など		高い	市民がスポーツ活動に参加しやすい環境づくりを推進する事業であり、市の主体的な関与が必要である。
	施策への貢献度	・ 施策への貢献度 ・ 目標達成度 ・ 市民サービスへの効果 など		高い	駐車場や男女別バリアフリートイレを整備することで、体育施設利用者への利便性が向上する。
	今後の方向性		□ 拡充 □ 現状維持 □ 改善・効率化 □ 縮小 □ 終期設定 □ 休止・廃止		
	令和7年度完了事業				

会計名			総合運動公園管理運営事業				担当部		教育部	
一般会計							担当課		スポーツ課	
款	項	目					担当係		業務係	
8	4	5								
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	都市基盤							
		基本施策	公園緑地・緑化							
		施策の内容	公園の管理・運営							
	目的	公園内の施設の維持管理を指定管理者に行わせることにより、利用者の安全性の確保と快適性の維持を図る。				主たる内容	○総合運動公園の施設及び樹木等の管理運営			
	位置づけ	関連計画								
		根拠法令	都市公園法、刈谷市都市公園条例							
	対象者		公園利用者			事業期間	平成29年度～			
実施方法		☐ 直営 ☐ 委託 ☒ 指定管理 ☐ 補助・助成 ☐ その他								
BDO 事業実績 計画V	5年度実績		6年度実績		7年度実績		8年度計画			
	指定管理者による一体的な管理運営をすることができた。		指定管理者による一体的な管理運営をすることができた。		指定管理者による一体的な管理運営をすることができた。		指定管理者による一体的な管理運営を行う。			
	成果		都市公園内にある体育施設と一体的に指定管理者が管理することにより、利用者への対応などをスムーズに行うことができた。							
	課題		総合運動公園内の迷惑駐車への対応として、指定管理者と連携した対策が必要である。							
	指標名称（単位）				実績値		目標値			
					5年度	6年度	7年度	8年度	10年度	
	成果指標	公園や緑地が充実していると思う市民の割合（％）		—	78.3	—	79.3	80.3		
	活動指標									
	他市との比較検証									
	C 事業コスト	単位：千円		5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（決算）	8年度（予算）	7年度事業費内訳		
事業費①		41,491	41,450	41,466	43,421	合計	41,465,642 円			
財源		特定財源	1,485	1,813	2,792	43,421	需用費	516,707 円		
		一般財源	40,006	39,637	38,674	0	委託料	40,777,530 円		
職員人件費②		1,151	1,195	1,240	1,270	使用料及び賃借料	171,405 円			
総事業費（①＋②）		42,642	42,645	42,706	44,691					
建設事業		全体事業費（単位：千円）		0		7年度特定財源名称				
		7年度までの累積事業費		0		公園使用料 行政財産目的外使用料				
		9年度以降の事業費見込		0						

会計名			刈谷市レクリエーション協会補助事業				担当部		教育部		
一般会計							担当課		スポーツ課		
款	項	目					担当係		指導係		
10	6	2									
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	教育文化								
		基本施策	スポーツ								
		施策の内容	クラブ・団体の育成								
	目的	刈谷市レクリエーション協会に対し補助を行い、市民の健康と文化の向上並びに健全なスポーツ・レクリエーション活動の実施、普及を図る。				主たる内容	市内のスポーツ・レクリエーション団体を束ね、各団体の指導育成、各種大会の開催及び指導者養成などの事業を実施する。				
		位置づけ									
		関連計画	第3次刈谷市スポーツマスタープラン								
		根拠法令									
	対象者	刈谷市レクリエーション協会加盟団体				事業期間	昭和22年度～				
	実施方法	☐ 直営 ☐ 委託 ☐ 指定管理 ☒ 補助・助成 ☐ その他									
	BDO 事業実績 計画V	5年度実績		6年度実績		7年度実績		8年度計画			
・刈谷市民盆おどり大会をはじめとする協会主催事業の実施 ・加盟団体委託事業の実施		・刈谷市民盆おどり大会をはじめとする協会主催事業の実施 ・加盟団体委託事業の実施		・刈谷市民盆おどり大会をはじめとする協会主催事業の実施 ・加盟団体委託事業の実施		・加盟団体委託事業の実施					
成果		市民の健康と文化向上を図るため、各種スポーツ・レクリエーション活動を実施するとともに、加盟団体の支援・育成に努め、更なる生涯学習活動の振興が図られた。									
課題		高齢化等により加盟団体やその構成員が減少傾向にあることから、市内のスポーツ・レクリエーションの更なる普及・振興を図るため、協会の所属団体が主体性を持って継続的、組織的に活動できる仕組みと次代を担うレクリエーションリーダーの養成が必要である。									
指標名称（単位）				実績値			目標値				
				5年度	6年度	7年度	8年度	10年度			
活動指標		加盟人数（人）				1,311	1,282	785	800	900	
指標											
他市との比較検証		【他市レクリエーション協会加盟状況】 名古屋市、豊橋市、一宮市、碧南市、西尾市、日進市、岩倉市、豊明市、北名古屋市、清須市、長久手市、あま市、弥富市、犬山市、小牧市									
C 事業コスト		単位：千円		5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（決算）	8年度（予算）	7年度事業費内訳			
	事業費 ①		3,000	4,150	4,150	1,200	合計 4,150,000 円				
	財源	特定財源	0	0	0	0	負担金、補助及び交付金 4,150,000 円				
		一般財源	3,000	4,150	4,150	1,200					
	職員人件費 ②		5,218	5,415	5,375	5,926					
	総事業費（①＋②）		8,218	9,565	9,525	7,126					
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		7年度特定財源名称					
		7年度までの累積事業費		0							
9年度以降の事業費見込		0									

会計名			各種大会補助事業				担当部		教育部			
一般会計							担当課		スポーツ課			
款							項目		担当係		指導係	
10							6		2			
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	教育文化									
		基本施策	スポーツ									
		施策の内容	スポーツ活動プログラムの充実									
	目的	トップリーグをはじめとする全国大会等を開催することにより、競技者の拡大、競技団体の強化を図ると共に、観戦機会を提供し、市民のスポーツ振興を図る。				主たる内容	〇トップリーグをはじめとする全国大会等の運営補助					
		位置づけ										
		関連計画	第3次刈谷市スポーツマスタープラン									
		根拠法令										
	対象者	刈谷市スポーツ協会に関連する競技団体				事業期間	～					
	実施方法	☐ 直営 ☐ 委託 ☐ 指定管理 ☒ 補助・助成 ☐ その他										
	BDO 事業実績 計画V	5年度実績		6年度実績		7年度実績		8年度計画				
ニトリJDリーグを始めとする18の大会に補助金を交付した。		ニトリJDリーグを始めとする14の大会に補助金を交付した。		ニトリJDリーグを始めとする12の大会に補助金を交付した。		ニトリJDリーグを始めとする21の大会に補助金を交付する。						
成果		全国レベルの大会等を誘致することで、市民がスポーツに触れる機会を創出するとともに、「みる・ささえるスポーツ」を通じて、スポーツ活動に参加できるきっかけづくりを行った。また、青少年がスポーツに親しみ、競技力の向上や幅広い交流を行う機会を支援し、青少年の健全育成を図った。										
課題		みる、ささえるスポーツを通じて、本市の更なるスポーツ振興を図るため、事業を充実させ、全国大会や世界大会の積極的な誘致を行う。										
指標名称（単位）				実績値			目標値					
				5年度	6年度	7年度	8年度	10年度				
活動指標		補助大会数（大会）				18	14	12	21	24		
指標												
他市との比較検証		全国大会等を積極的に誘致するための本市独自の事業である。										
C 事業コスト		単位：千円		5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（決算）	8年度（予算）	7年度事業費内訳				
	事業費 ①		19,974	17,494	17,360	28,687	合計 17,359,860 円					
	財源	特定財源	0	0	0	0	負担金、補助及び交付金 17,359,860 円					
		一般財源	19,974	17,494	17,360	28,687						
	職員人件費 ②		1,228	1,274	2,150	2,201						
	総事業費（①＋②）		21,202	18,768	19,510	30,888						
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		7年度特定財源名称						
		7年度までの累積事業費		0								
9年度以降の事業費見込		0										

会計名			各種大会開催事業				担当部	教育部			
一般会計							担当課	スポーツ課			
款	項	目					担当係	指導係			
10	6	2						普及係			
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	教育文化								
		基本施策	スポーツ								
		施策の内容	スポーツ活動プログラムの充実								
	目的	各種目毎に参加者相互の情報交換と交流を深めるとともに、スポーツの普及振興に寄与する。				主たる内容	○専門の知識と実績を有する団体等への事業委託による各種スポーツ大会の開催				
	位置づけ	関連計画	第3次刈谷市スポーツマスタープラン								
		根拠法令									
		対象者	市民			事業期間	～				
	実施方法	□直営 ■委託 □指定管理 □補助・助成 □その他									
BDO 事業実績 計画V	5年度実績	・スポーツ大会等の開催 万人卓球 444人 ユニホッケー 96人 GOGOウォーキング 148人 参加者 計688人									
		6年度実績	・スポーツ大会等の開催 万人卓球 473人 ユニホッケー 108人 GOGOウォーキング 174人 参加者 計755人								
			7年度実績	・スポーツ大会等の開催 万人卓球 249人 ユニホッケー 103人 GOGOウォーキング 219人 参加者 計571人							
				8年度計画	・スポーツ大会等の開催 万人卓球 ユニホッケー GOGOウォーキング						
					成果	市民が気軽に参加できる大会を開催することにより、選手間の交流が深められた。また、日頃のスポーツ活動の成果を発揮できる場を提供することにより、競技力や取組意欲の向上を図ることができた。 誰もが、いつでも、どこでも、手軽に始められ、継続して行うことができるスポーツであるウォーキング大会を開催することにより、普段スポーツに関わりの少ない市民に、スポーツを始めるきっかけ作りを行うことができた。					
	課題	・競技団体による自主的な大会開催への移行促進 ・競技者が大会に参加したくなるような効果的、効率的な啓発									
	指標	指標名称（単位）				実績値		目標値			
						5年度	6年度	7年度	8年度	10年度	
		活動指標	各種大会、イベント参加者数（人）				10,206	9,737	10,330	13,000	13,000
		指標									
他市との比較検証											
C 事業コスト	単位：千円		5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（決算）	8年度（予算）	7年度事業費内訳				
	事業費 ①		383	385	378	384	合計	377,550 円			
	財源	特定財源	97	105	113	155	役務費	28,550 円			
		一般財源	286	280	265	229	委託料	349,000 円			
	職員人件費 ②		1,381	1,433	1,488	1,524					
	総事業費（①＋②）		1,764	1,818	1,866	1,908					
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		7年度特定財源名称					
		7年度までの累積事業費		0		大会参加料 保険料実費徴収金					
		9年度以降の事業費見込		0							

会計名 一般会計			愛知万博メモリアル市町村対抗駅伝選手派遣事業				担当部 教育部			
款 項 目 10 6 2							担当課 スポーツ課			
							担当係 指導係			
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	スポーツ							
		施策の内容	スポーツ活動プログラムの充実							
	目的	愛知万博メモリアル愛知県市町村対抗駅伝競走大会に刈谷市代表選手を派遣し、市民にPRすることで競技の普及を図るとともに刈谷市を含めた愛知県内の市町村スポーツ振興に寄与する。				主たる内容	市町村駅伝大会に刈谷市チームを編成、派遣する事業を実行委員会に委託し、愛知万博メモリアル愛知県市町村対抗駅伝競走大会に刈谷市として出場する。			
		位置づけ								
		関連計画	第3次刈谷市スポーツマスタープラン							
		根拠法令								
	対象者	選抜選手並びに実行委員				事業期間	平成18年度～			
	実施方法	☐ 直営 ☒ 委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助・助成 ☐ その他								
	BDO 事業実績 計画V	5年度実績		6年度実績		7年度実績		8年度計画		
4回の合同練習会等を行うとともに、各部門2名計18名の選手にて出場した。 ○順位 第9位		4回の合同練習会等を行うとともに、各部門2名計18名の選手にて出場した。 ○順位 第4位		3回の合同練習会等を行うとともに、各部門2名計18名の選手にて出場した。 ○順位 第4位		4回の合同練習会等を行うとともに、各部門2名計18名の選手にて出場する。 ○目標順位 5位以内				
成果		大会を通じて愛知万博を次世代へ継承するとともに、競技者育成、市町村相互の交流及びスポーツ振興を図ることができた。								
課題		世代ごとの選手育成、選考及び発掘、陸上競技者以外へも広く大会のPRや広報を行う必要がある。								
指標名称（単位）				実績値		目標値				
				5年度	6年度	7年度	8年度	10年度		
成果指標		総合順位（位）				9	4	4	5	5
指標										
他市との比較検証		愛知万博メモリアル愛知県市町村対抗駅伝競走大会には県内の全市町村が参加している。								
C 事業コスト		単位：千円		5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（決算）	8年度（予算）	7年度事業費内訳		
	事業費 ①		283	404	298	322	合計	298,320 円		
	財源	特定財源	0	50	0	0	委託料	298,320 円		
		一般財源	283	354	298	322				
	職員人件費 ②		4,182	4,738	4,300	5,249				
	総事業費（①＋②）		4,465	5,142	4,598	5,571				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		7年度特定財源名称				
		7年度までの累積事業費		0						
		9年度以降の事業費見込		0						

会計名			スポーツマスタープラン推進事業				担当部		教育部	
一般会計							担当課		スポーツ課	
款	項	目					担当係		業務係	
10	6	2								

PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	スポーツ						
		施策の内容	スポーツ活動プログラムの充実						
	目的	スポーツマスタープランの基本施策として位置付けている「施設の整備・充実・開放」（総合運動公園の機能の拡充及びスポーツ施設の適正配置）について、具体的な方針を検討する。				主たる内容	スポーツマスタープランアクションプランの策定業務委託		
		位置づけ							
		関連計画							
		根拠法令							
	対象者	対象者を限定せず				事業期間	～		
	実施方法	☐ 直営 ☒ 委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助・助成 ☐ その他							

BDO 事業実績 計画 実施 V	5年度実績		6年度実績		7年度実績		8年度計画		
					・関係団体等との調整 ・仕様作成		(R7繰越分) ・第3次スポーツマスタープランアクションプラン策定業務 ・スポーツ推進審議会の開催(3回)		
	成果	関係団体等との調整を行い、第3次スポーツマスタープランアクションプラン策定業務の仕様を作成した。							
	課題	関係団体等との調整に時間が必要だったため、次年度に繰り越すこととなった。							
	指標名称（単位）				実績値		目標値		
					5年度	6年度	7年度	8年度	10年度
	活動指標	スポーツ推進審議会開催回数（回）					0	4	
	活動指標	計画策定進捗率（％）					20	100	
	他市との比較検証								

C 事業コスト	単位：千円		5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（決算）	8年度（予算）	7年度事業費内訳	
	事業費 ①		0	0	0	9,181	合計 0 円	
	財源	特定財源	0	0	0	9,181		
		一般財源	0	0	0	0		
	職員人件費 ②		0	0	5,375	2,540		
	総事業費（①+②）		0	0	5,375	11,721		
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		7年度特定財源名称		
		7年度までの累積事業費		0		前年度繰越金		
		9年度以降の事業費見込		0				

会計名			体育館等施設改修事業				担当部		教育部	
一般会計							担当課		スポーツ課	
款	項	目					担当係		業務係	
10	6	3								
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	スポーツ							
		施策の内容	施設の整備・充実・開放							
	目的	体育館等の施設の円滑な管理運営を図る。				主たる内容	○体育館等の設備の修繕、工事			
	位置づけ	関連計画	第3次刈谷市スポーツマスタープラン							
		根拠法令	スポーツ基本法							
	対象者		施設利用者			事業期間	平成28年度～			
	実施方法		☐ 直営 ☒ 委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助・助成 ☐ その他							
BDO 事業実績 計画V	5年度実績		6年度実績		7年度実績		8年度計画			
	・刈谷市体育館屋上防水修繕 ・刈谷球場消防設備改修工事 ・刈谷球場監視カメラ取替工事 ・双葉グラウンド防球ネット他改修工事		・刈谷市体育館冷温水ポンプ分解修繕 ・刈谷市体育館自動ドア修繕他		・刈谷市体育館受変電設備等改修工事 ・刈谷球場受変電設備改修工事他		・刈谷市体育館武道場空調設備改修工事 ・刈谷市体育館給水設備改修工事 ・井ヶ谷グラウンド防球ネット増設工事他			
	成果	施設整備により利用者の安全性や利便性を向上した。								
	課題	今後、施設の老朽化により予期しない修繕等も考えられるため、日頃の点検を強化した上で維持管理計画を検討する必要がある。								
	指標名称（単位）				実績値			目標値		
					5年度	6年度	7年度	8年度	10年度	
	成果指標	利用者満足度（％）			81	85	89	90	92	
	指標									
	他市との比較検証	体育館施設 安城市2棟（S54、H12）、碧南市1棟（H7）、知立市1棟（S57）、高浜市1棟、西尾市5棟（S54、S59、H4、H5、H21）								
	C 事業コスト	単位：千円		5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（決算）	8年度（予算）	7年度事業費内訳		
事業費 ①		59,074	11,749	52,594	111,535	合計	52,594,300 円			
財源		特定財源	0	0	26,995	32,000	需用費	2,909,500 円		
		一般財源	59,074	11,749	25,599	79,535	工事請負費	49,684,800 円		
職員人件費 ②		1,918	1,991	2,067	2,117					
総事業費（①+②）		60,992	13,740	54,661	113,652					
建設事業		全体事業費（単位：千円）		0		7年度特定財源名称				
		7年度までの累積事業費		0		公共施設維持保全基金繰越金 前年度繰越金				
		9年度以降の事業費見込		0						

会計名			学校開放事務費事業				担当部		教育部	
一般会計							担当課		スポーツ課	
款	項	目					担当係		普及係	
10	6	3								
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	スポーツ							
		施策の内容	施設の整備・充実・開放							
	目的	小中学校の体育施設を地域住民のスポーツ活動へ開放し、市民の健康の保持増進と体力の向上を図る。				主たる内容	○管理指導員の委嘱			
	位置づけ	関連計画	第3次刈谷市スポーツマスタープラン							
		根拠法令	刈谷市立小中学校体育施設のスポーツ開放に関する規則							
		対象者	市民			事業期間	昭和52年度～			
	実施方法	■直営 □委託 □指定管理 □補助・助成 □その他								
BDO 事業実績 計画 実施 V	5年度実績		6年度実績		7年度実績		8年度計画			
	・利用件数 9,945件 ・利用人数 171,738人		・利用件数 10,215件 ・利用人数 169,930人		・利用件数 11,054件 ・利用人数 186,934人		・利用件数 12,000件 ・利用人数 200,000人			
	成果	多くの市民にスポーツ活動の場を提供することができ、一市民スポーツの推進が図られたとともに、市民の健康の保持増進と体力の向上に寄与することができた。また、空調料金徴収の適正化のため、各学校の空調の稼働記録の管理及び実績との照合を行い、適切に空調料金を徴収することができた。さらに、空調料金の見直しを行い、料金改定をした。								
	課題	管理指導員の在り方や予約枠の拡大について検討が必要である。								
	指標名称（単位）				実績値		目標値			
					5年度	6年度	7年度	8年度	10年度	
	活動指標	学校スポーツ開放登録人数（人）				7,693	7,379	7,653	8,500	9,000
	指標									
	他市との比較検証									
	C 事業コスト	単位：千円		5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（決算）	8年度（予算）	7年度事業費内訳		
事業費 ①		3,852	4,746	5,156	4,937	合計	5,155,673 円			
財源		特定財源	0	0	0	0	報償費	2,157,700 円		
		一般財源	3,852	4,746	5,156	4,937	需用費	1,594,593 円		
職員人件費 ②		5,755	5,973	6,202	6,350	委託料	691,900 円			
総事業費（①+②）		9,607	10,719	11,358	11,287	備品購入費	711,480 円			
建設事業		全体事業費（単位：千円）		0		7年度特定財源名称				
		7年度までの累積事業費		0						
		9年度以降の事業費見込		0						